

2025年度「ミマモリングアドバンス」
春期セミナー前編



【今回のセミナープログラム】

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
「見守る保育って」何？！
2. 「ミマモリング」について
先生方が発達を理解するために必要な環境とは？！
3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する
先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「見守る保育って」なに？！

チーム保育

異年齢

セミバイキング

ゾーン

選択制



ゾーンを作らないといけないの？
選択制でないといけない？

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「見守る保育」を理解する時に、
「保育の考え方」と「保育方法」に
分けて考えてみましょう！



「見守る保育」

保育の
考え方

- ・年齢ではなく一人ひとりの発達に合わせる
- ・遊びや環境を通して子どもの発達を保証する
- ・子ども同士の関係性の中で発達を促す
- ・子どもの主体性を大切にする

保育方法

- ・ゾーン
- ・異年齢
- ・セミバイキング
- ・選択制
- ・チーム保育など

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「保育方法」は取り入れていても「考え方」に沿っていない場合は、
「見守る保育」が、実践しづらいということになると思います。

大事なことは考え方を理解することです。



こんなこと起きていませんか？

- ・ゾーンはあるけれど、**子どもたちの発達や興味に合っていない**
- ・異年齢で保育をしているけれど、**一斉に同じことをさせている**
- ・一部の時間で選択性を取り入れているけれど、**通常保育は先生が主導している**



1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「**保育の考え方**」をよく見てみると、
指針の内容そのものなのがわかると思います。

「見守る保育」は、特別な保育方法なのではなく、
子ども主体の保育を目指す考え方そのものです。



「見守る保育」

保育の
考え方

- ・年齢ではなく一人ひとりの発達に合わせる
- ・遊びや環境を通して子どもの発達を保証する
- ・子ども同士の関係性の中で発達を促す
- ・子どもの主体性を大切にする

見守る保育 = 指針に準拠している

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見守る保育」って何をすれば「見守る保育」になるの?!
 「見守る」とは、子どもの何を見守るの?!

さて、この「考え方」に沿うようにしようと思うときに
 大事なポイントがあります。

「見守る」という言葉を分解してみましょう。

↓ ↓
見る + 守る

「見る」とは何を見て、何を**「守る」**のでしょうか?

皆さんで考えてみましょう!
 (手元のテキストにご自身の考えを記述してみましょう!)



1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見守る保育」って何をすれば「見守る保育」になるの?!
 「見守る」とは、子どもの何を見守るの?!

①ワークシートに自分なりの言葉でお書きください。
 ②記入が済んだら隣の先生と共有してください!
 ・時間：3分

今日の体験メニュー!



「ミマモリングアドバンス」前編 ワークシート

ここに



1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見守る保育」って何をすれば「見守る保育」になるの?!
 「見守る」とは、子どもの何を見守るの?!

見る (その子の発達状況と興味関心を理解する)
 +
 → **「ミマモリング」**
 +
守る (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る)

上記のポイントを守っていくことで、
 「見守る保育」の考え方に添いやすくなりますね。



『見守る保育』
 藤森 平司著より

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見る」ことができないと「守る」ことができない

どんなに優れた保育環境でも、目の前の子どもの発達と興味関心に
 沿ってなければ意味を成しません。

「見る」 (発達や興味関心を理解する) というのは、
「守る」 (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る) ためには
 欠かすことの出来ないことなんですね。



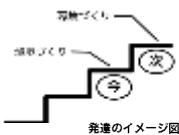
1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見守る保育って」何?!

「発達」と「興味関心」を理解するとき、
 「興味関心」は子どもを見ていたり、子どもに聞いてみたりすることで
 理解しやすいイメージがあります。

しかし、「発達」は子どもに聞いても分かりづらいのではないのでしょうか。
 5領域の中で、今の発達がどこで、次の発達は何か。

発達段階を踏まえることが**保育の専門性**でもあります。

さて、だからこそ、先生方が「発達」をしっかりと
 見ることができる環境づくりが園として大切なわけです。

発達のイメージ図

2. 「ミマモリング」について
 先生方が発達を理解するために必要な環境とは?!

子どもたちがゾーンやコーナーを通して成長していくように
 先生方が自然に学べる環境を園内に作っていく必要があります。

今までの発達記録様式は、
 年齢別の様式で「手書き式」「チェック式」などがありましたが、
 様々な理由から発達理解を難しくさせていました。

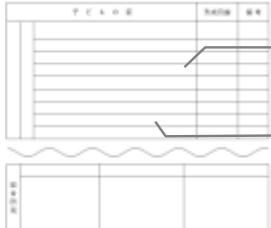
なぜ発達の理解が難しかったのかについて、
 実際の書類を今から画面に映しますので
 考えてみましょう!



2. 「ミマモリング」について

先生方が発達を理解するために必要な環境とは？！
開発の経緯（発達の理解について）—手書きの記録様式

手書き式の書類を使ったことがある先生は、こちらの書類の困ったこと、大変だったことを思い出してみましょう！



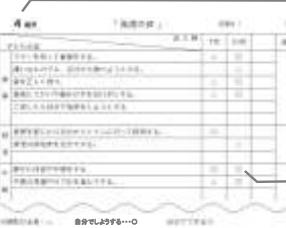
【手書き書類での困りごと】
先生が気付いたことは書けますが、気付かないことは抜け落ちてしまい、書き手によって内容が左右されてしまいがち。

【手書き書類での困りごと】
書いた内容がその子の発達なのか、性格なのか、その日の出来事など混ざりやすい。発達課題が書かれていないと、保育計画に活かせず、監査のための書類になってしまう。

2. 「ミマモリング」について

先生方が発達を理解するために必要な環境とは？！
開発の経緯（発達の理解について）—チェック式の記録様式

年齢式のチェック様式の書類を使ったことがある先生は、この書類の困ったこと、大変だったことを思い出してみましょう！



【年齢式書類での困りごと】
年齢の崩り込みにより、年齢でその子を見てしまい、記録がつかないと「出来ない子」となってしまいがちです。実際は3歳の発達状況かもしれませんが、3歳の発達項目は3歳の用紙にしかありません。

【チェック式での困りごと】
「自分でできる〇」の記録がついた場合、本来、その先の発達状況であっても、こちらの書式では把握することが出来ません。

2. 「ミマモリング」について

ミマモリングでできること

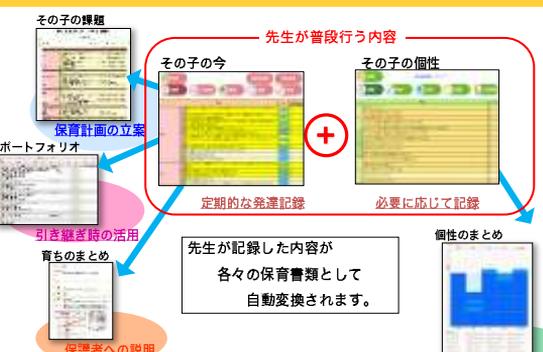
- 年齢ではなく子ども一人ひとりの今の発達状況と次の課題が分かる環境づくり
- 子どもたちにどんな環境を用意していけば良いかが分かりやすくなる環境づくり
- 3法令に沿った書類を作成し、現場の保育書類の軽減ができる環境づくり

→専門性が自然と高まる環境づくりと、『質の高い保育』、『業務省力』の両立を行えます。

【保育所保育指針や幼稚園教育要領・認定こども園などの3法令にソフトを使うことで職員の方が自然と身に付けていける環境づくり】

2. 「ミマモリング」について

ミマモリングの仕組み全体像



その子の課題、その子の今、その子の個性、保育計画の立案、定期的な発達記録、必要に応じて記録、ポートフォリオ、引き継ぎ時の活用、育ちのまとめ、保護者への説明、個性のまとめ

先生が普段行う内容

先生が記録した内容が各々の保育書類として自動変換されます。

様々な場面に応じて各種書類を活用します。偏り（個性）に気づく

2. 「ミマモリング」について

「その子の今」画面概要



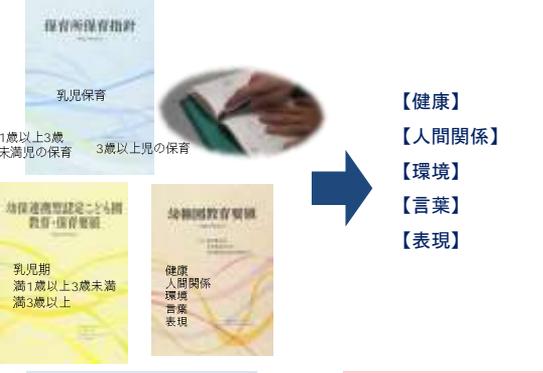
1. 3法令の「5領域」と「発達の特徴」で分類

2. 指針の項目をカテゴリ毎に整理

3. 年齢ごとではなく0～6歳までの項目を縦に発達段階で並び替え

4. 年齢ではなく発達区分で分類
M0 = 0～2歳
M1 = 3歳
M2 = 4歳
M3 = 5歳
M4 = 6歳

5. 子ども姿を想像しつつ指針の解説文を読みながら発達を理解していくことが出来ます



保育所保育指針
乳児保育
1歳以上3歳未満児の保育
3歳以上児の保育

幼稚園教育要領
健康
人間関係
環境
言葉
表現

年齢毎に分けられている発達項目

入園から卒園までの発達一覧

2. 「ミマモリング」について

「その子の今」画面概要

1. 3法令の「5領域」と「発達の特徴」で分類

2. 指針の項目をカテゴリ毎に整理

3. 年齢ごとではなく0～6歳までの項目を縦に発達段階で並び替え

4. 年齢ではなく発達区分で分類
M0 = 0～2歳
M1 = 3歳
M2 = 4歳
M3 = 5歳
M4 = 6歳

5. 子ども姿を想像しつつ指針の解説文を読みながら発達を理解していくことが出来ます

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！

チェック時の注意事項

チェックをする上では『発達過程』や『発達の連続性』をふまえて下記に注意して下さい。

- ①一つのカテゴリ内では、歯抜けのチェックにならないようにします
- ②すべての判断基準を満たした場合にチェックを付けるようにします

◆チェック時の注意事項
発達過程や連続性の見落としがないように注意しながらチェックをしてください。

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！

では次に、

見る (その子の発達状況を理解する)
+

守る (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る)

この2つのポイントについて
「ミマモリング」を実際を使って体験から学んでいきましょう！

まずは、
「見守る」の「見る (その子の発達状況を理解する)」について、
実際に園児さんを決めてチェックして体験から理解していきましょう。

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る (その子の発達状況を理解する)」ワークショップの流れ

今日の体験メニュー！

ワークショップ開始のご準備をお願いします！

1. 「ミマモリング」にログインしてください
2. グループごとに発達に分かる園児を一人決めてください

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る (その子の発達状況を理解する)」ワークショップの流れ

今日の体験メニュー！

3. 「ミマモリング」のチェックを開始してください

- ・グループで話し合っ、相談しながら5領域の発達チェックを付けてください。(領域はどこでも構いません。)
- ・時間：7分間
時間が近くなったらお声掛けします。

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る (その子の発達状況を理解する)」ワークショップの流れ

今日の体験メニュー！

【ワークショップの流れ】

- ・ワークショップ①の内容についてワークシートにまとめ次第、チャットに感想をご入力ください！(口頭での発表でもOK！です)
- ・複数人でご参加の場合には、時間の許す限りご入力ください。
- ・時間：5分+2分で記入(下記の欄の記入が終わった方は、チャットに打ち込んでください！) p43みたいに

ここ

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る（その子の発達状況を理解する）」ワークショップの流れ

0分 ----- 7分 ----- 10分

- 1 ワークシートに記入** (5分)
ワークシートの中段の欄に記入をお願いします。
- 2 チャットに入力** (2分)
ワークシートに記載した内容をチャットに入力してください。
※入力できない方は口頭で発表をお願いします。
- 3 ワークシートの内容を参加者と共有!** (3分)
ワークシートに書いた内容をチャットor口頭で参加者と共有

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る（その子の発達状況を理解する）」ワークショップの流れ

0分 ----- 3分 ----- 10分 ----- 15分 ----- 17分 ----- 20分

- 1 ミマモリングにログイン** (1分)
- 2 園児を一人選択** (2分)
- 3 チェック開始** (7分)
- 4 ワークシートに記入** (5分)
- 5 チャットに入力** (2分)
- 6 ワークシートの内容を参加者と共有!** (3分)

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「守る（発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る）」ワークショップ②

続けて「**守る**」の視点で発達チェックを見ていきましょう!



ワークショップ②の流れ

0分 ----- 15分 ----- 20分

- 1 「守る」視点で、チェックを振り返り!** (16分)
どんな環境が必要かを、チェックをしながら考える
- 2 ワークシートに実践内容を記入** (4分)
考えた環境や配慮事項をワークシートにまとめる
- 3 ワークシートの内容を参加者と共有!** (4分)
ワークシートに書いた内容をチャットor口頭で参加者と共有

・時間：20分間
時間が近くなったらお声掛けします。

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

① 「守る」視点でチェックを振り返り!

	ヒント	チェック項目
1. 園児の様子	園児の様子	<input type="checkbox"/>
2. 園児の発達	園児の発達	<input type="checkbox"/>
3. 園児の生活	園児の生活	<input type="checkbox"/>
4. 園児の健康	園児の健康	<input type="checkbox"/>
5. 園児の安全	園児の安全	<input type="checkbox"/>
6. 園児の情緒	園児の情緒	<input type="checkbox"/>
7. 園児の社会性	園児の社会性	<input type="checkbox"/>
8. 園児の学習	園児の学習	<input type="checkbox"/>
9. 園児の遊び	園児の遊び	<input type="checkbox"/>
10. 園児の生活リズム	園児の生活リズム	<input type="checkbox"/>

①チェックが付いている項目に対して子どもたちが自ら選択し、思う存分体験できる環境があるか、皆さんで話し合ってみてください。
例) ハイハイを始めた子が、十分ハイハイができる環境があるでしょうか？
■環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか？

<これはしないでね！>
陥りやすいポイント、よくない使い方
・1回出来たからと言って、チェックを付けてしまう！
・次の課題だからといって、どんどんやらせている！



3. 陥りやすいポイント

どう活用すると大人主体になりがちか？!

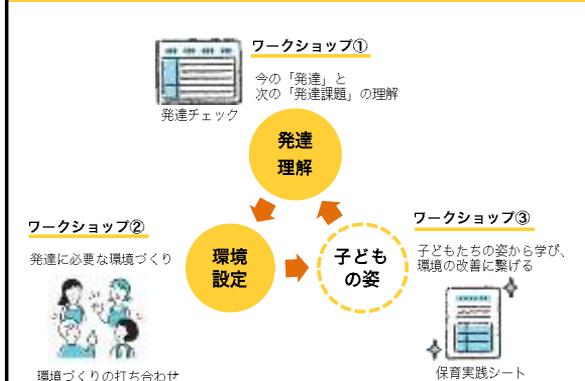
実践あるある

- ・早く発達をさせてあげようと手伝ったり、誘導してしまう
- ・保育者の意図性が強すぎて子どもの本当の声や心情を子ども自身が発することが出来ないようにしてしまう
- ・子どもが決める前に大人が決めてしまう
- ・今の発達状況を十分に味合わせてあげない

助長

- 1 力を添えて、ある物事の成長や発展を助けること。また、ある傾向をより著しくさせること。
- 2 苗を早く生長させようと思った宋の人が苗を引き抜いて枯らしてしまったという「孟子」公孫丑上の故事から unnecessary 力添えをして、かえって害すること。
(goo辞書より)

研修のまとめ



後編のセミナーに向けて

ワークショップ①と②を踏まえて挙げたアイデア（環境設定や玩具作り、言葉掛け等）を実行してみましょう！

保育室へ行って子どもたちの姿を見たり、保育室の環境設定を変えたりしてみてください。

※すぐに実行が難しい場合には、実行するための準備や打ち合わせなどを行ってください。

期間：5月9日（金）18時まで

次回後編のセミナーで、実践したことを共有しあって学び合いましょう！

